



**DOJIN**  
**R18**  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

とある夏休み

夏だ！

海だ！

即ち

余の季節  
である！！

じゃーん

惚れ直したの  
ではないか？  
んん？

むむ声も出ないとは  
張り合いのない

なに久々のバカンスゆえ  
ゆっくり羽を  
伸ばそうではないか

それとも感動のあまり  
息もつけぬということか  
愛いやつめ！

マスターー！



ふふっ  
どうにも  
はしゃいでしまうな

マスター  
いかがですか  
清姫の水着姿

玉藻もみこーんと  
脱いじゃいました！

キラ

キラ



マスターの  
視線が奪われるのは  
癒だが良いものは佳い

むむっ  
これはまた艶やかな

……！



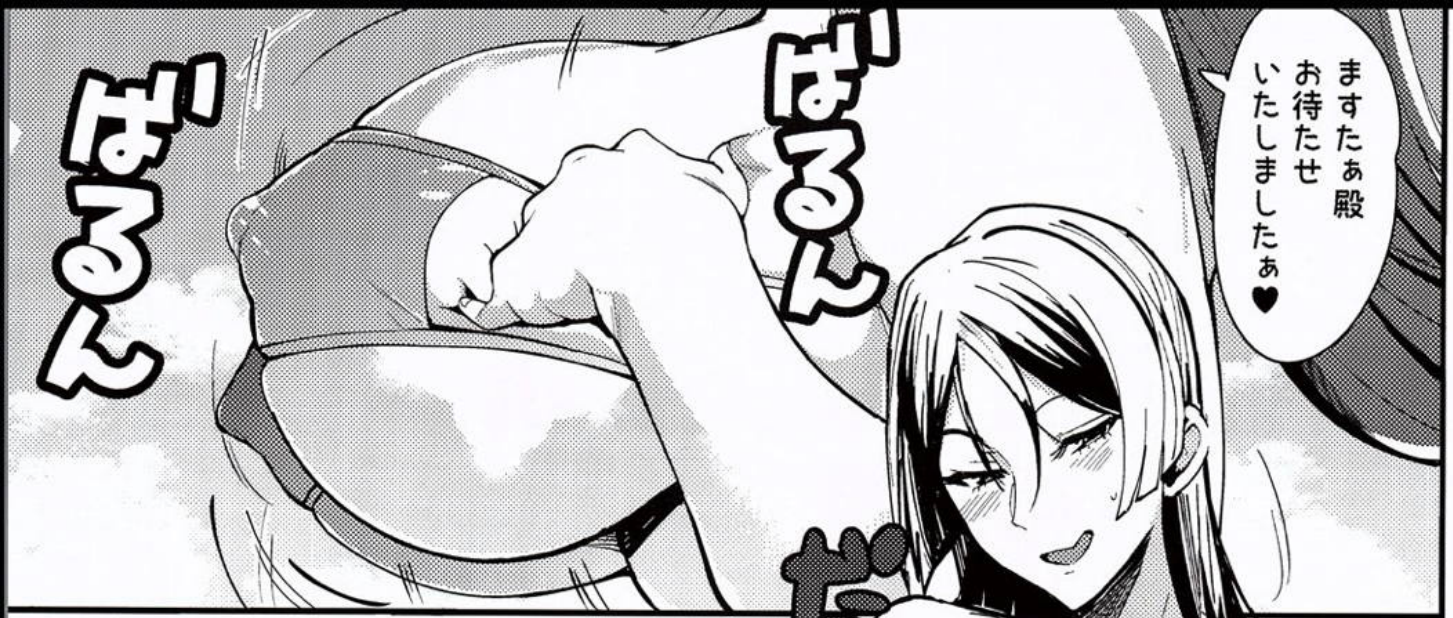
あー玉藻様  
最初はこの清姫に

ぐめめ

ぐわ



ささっ今日は折角ですし  
玉藻がマスターのお疲れを  
癒やしてさしあげます



ますたあ殿  
お待たせ  
いたしましたあ♥

ばんばん

ばんばん

ばんばん♥



ああマスターが  
デレデレに!?

無問題



水着を  
合わせるのに  
手間取ってしまったて

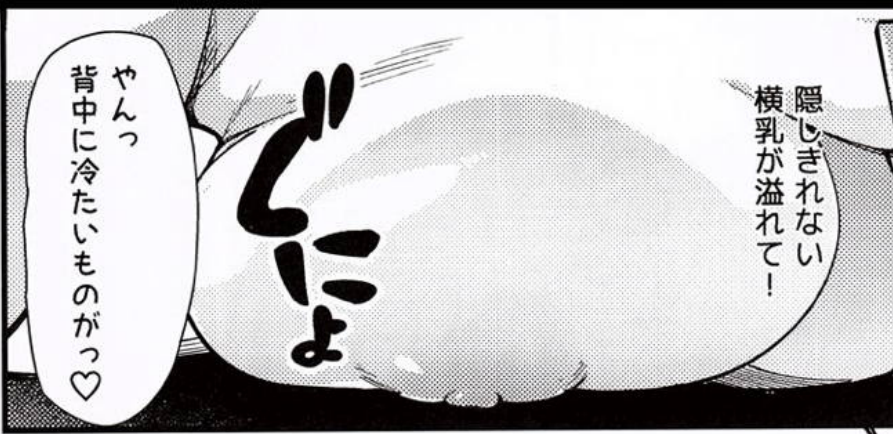
どうでしょうか  
どこがおかしくは  
ありませんか?



ますたあ殿  
そのおいる・とやらを  
塗っていたいただきたいの  
ですが?

おちよこ...

キミ



隠じきれない  
横乳が溢れて！

やんっ  
背中に冷たいものがっ♡



頼光さんの背中  
とても綺麗ですよ

あらあら  
ありがとう  
ございます♡



こうなったら  
目をつむったまま



やばいよ  
こんなにえっちな身体  
直視してられない

ワッ







おっと  
僕としたことが  
着地を疎かにするなど

それとも  
我が身を  
案じて尻の下に  
入り込んでくれたのか？

まったく  
助平なマスターを  
主人にしたものだ

フゴーフゴー！  
(ちがいまぶー！)

プク  
プク



こら暴れるでない  
僕とてそこは  
弱いのだ

あっ♡



甘酸っぱい  
芳しい匂いが

なに？  
なにがどうなって!?

はま



うううう…



息が！

あっ貴様っ♡

ロッ  
ロッ



あっ  
マスター!?

バァ  
バァ



気が付いたか  
マスター

ネロ？

極上の感触であろう？  
余の膝枕など  
ローマ皇帝でも  
味わえぬのだから

ははっ

しかし余を差し置いて  
他のおなごに鼻の下を  
伸ばすのは罷りならん

ハイッ

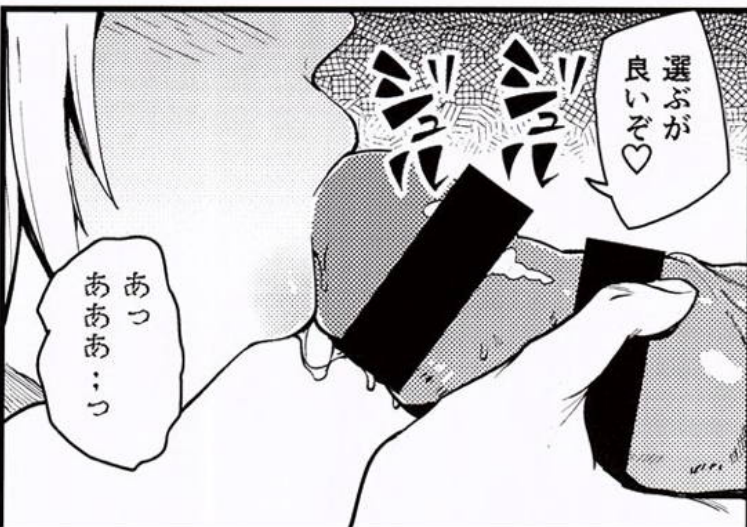
ごめんね

許さぬ

大罪である  
余の心を  
奪ったのだから

ははっ





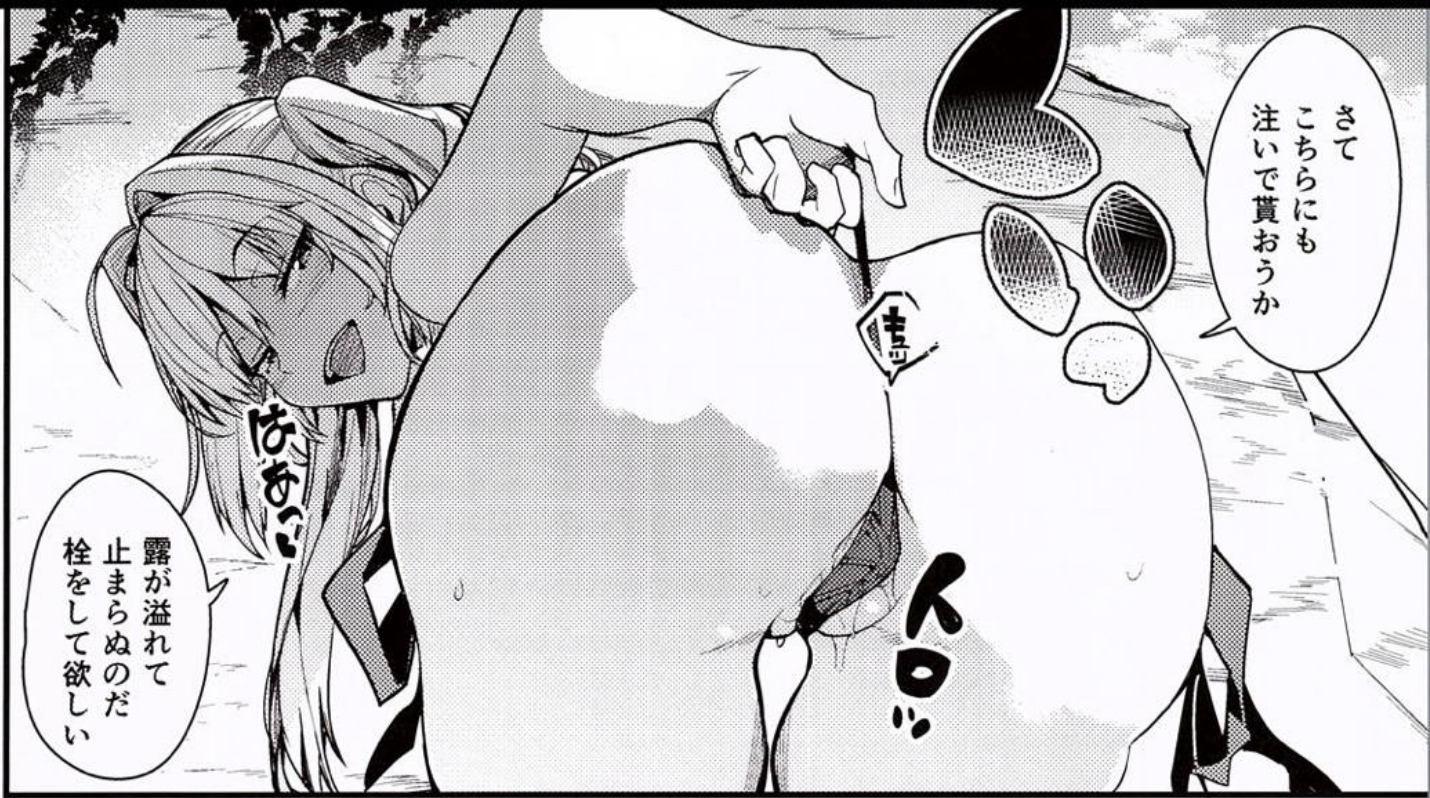


んふっなかなか濃厚な子種ではないか

ゴキョ

美味とは言えぬが不思議と悪くない

身体が悦んでしまうな



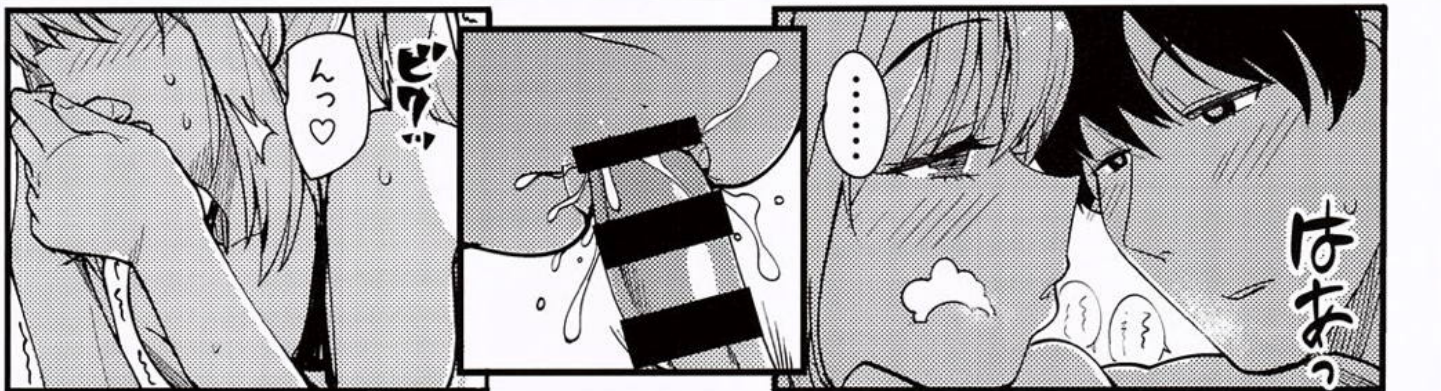




またー  
どこにおられ  
ますかあ？

はてこちらの方で  
またーの声か  
したような気が  
したのですが

!



んっ♡

んっ♡

...

はあっ



かわいい声  
だしちゃって

それは仕方：  
なかる：  
んっふあっ♡

出すよ  
ネロの膣内に

まっ待てマスター  
今・そんなっ♡

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ



ネロ!  
:っネロ!!

ソワソワ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

っ  
~~~~~  
♡

そうなのだっ♡  
ぐにゅっとな!!!

いやあ:  
ナマコ  
踏んじゃってね  
思わず冷や汗  
でちゃったよ

汗だくで  
どうしたの  
ですか?

おや  
そこに  
おられましたか





ふっふっふっ  
なかなか良い  
浴場ではないか

ふうう〜

カッ



なっ：  
どうしてここは  
男湯なの!?

なにを馬鹿な  
ローマに男も女湯も  
あるものか



えっ：  
ちよま!?

なに遠慮は不要  
浴場では誰しも  
裸の付き合いなだから



前隠して前隠して

なにを恥じらう  
ことがある  
先ほどまで  
交わっていた  
ではないか

恥じらい!!

日頃からの感謝を込めて  
背中を流してやろうと  
思い立ってな!



こうして殿方に  
奉仕するなど  
初めて故な

不出来は  
許すが良い

背中を撫でる  
おっぱいと蕾の感触



ほれほれ  
余の乳こすりだぞ

どこでこんな  
の覚えたのさ

ふふっこういう奉仕の  
やりかたもあると  
伝え聞いたものでな

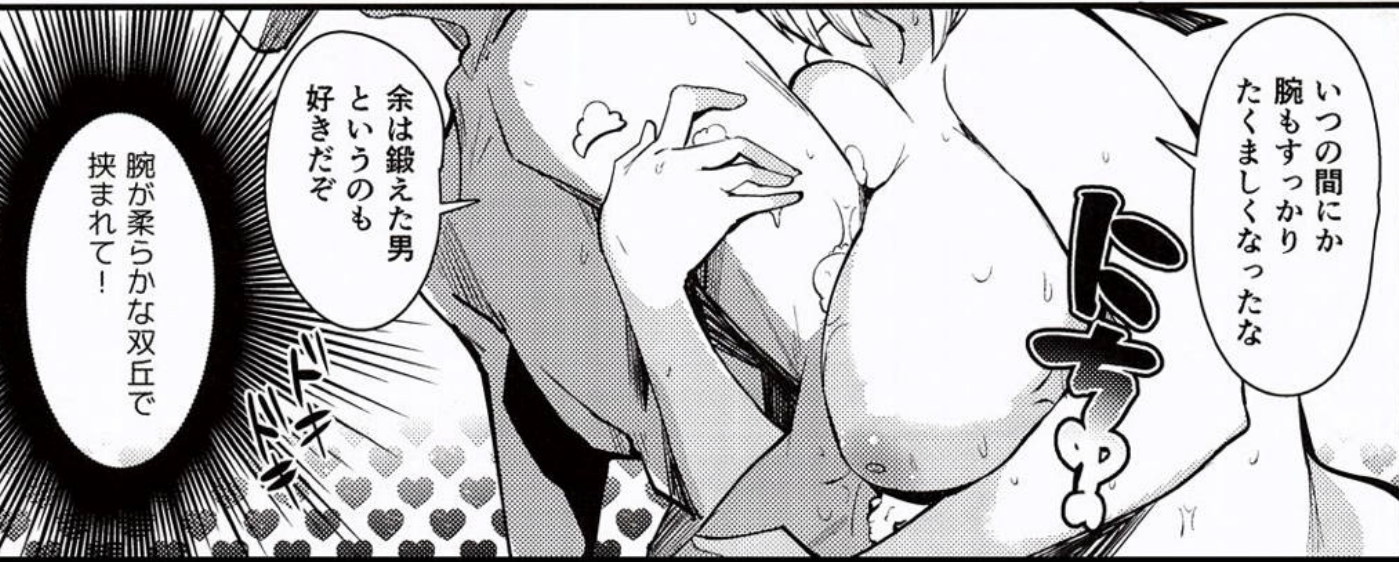
しかしこれは  
なかなかいいらしい



どうだマスターよ  
悪くないであろう？

う...

ふふ  
聞くまでもなかったな  
気持ちが良いと顔に  
書いてある



いつの間にか  
腕もすっかり  
たくましくなったな

余は鍛えた男  
というのも  
好きだぞ

腕が柔らかな双丘で  
挟まれて！



そこからこちらを向くが良い

やはり正面から  
顔を見合わせながら  
というのは  
気恥ずかしいな



ふふっ  
そなたの雄の乳首も  
膨らんでおるぞ

うあああ・



逸物も余の蜜壺に  
おしつけてきよって  
仕方のないやつめ♪

余の身体で  
温めてやろうではないか

たっぷりと♡

じゅっくりと♡



やらして音おろ

お腹の奥まで  
マラがえぐりこんで!!

おっ!!

余とそなたの境界が  
まじりあって  
とろけてしまいそうだ



ネロの中っ  
熱くてたまらない!



ネロツ:  
ネロの膣内に  
出したい!

マスター♡

マスター♡

マスター♡





**AMAYADORI +**